

様式 4

令和 5 年度 学校運営協議会評価報告書 1

鳥取県立倉吉養護学校
 学校長 中家 岳史

評 価 日	令和 5 年 5 月 2 5 日 (木)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策
<p>1 目標設定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 機器を利用した学びをすることができる等の目標設定がしてある。これからの教育で大切なことである。コロナ禍でオンラインを活用して、子どもたちが気軽に学習できるという声も聞く。ただ、子どもが活用できるためには、学校だけでなく、自宅でタブレットを活用するなど、保護者や家族も活用できる環境も必要ではないか。 ・ 表現力の育成ということであるが、例えば倉吉農業高等学校と田植え等の交流をする中で、培えることもあるのではないか。 <p>2 評価項目と目標達成のための取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等部で一人一台端末を利用した学びが実践されるとあるが、生徒の可能性を広げる取り組みとして期待している。その上で小中等他の学部への実践の広がりもお願いしたい。 <p>3 具体目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表現力がキーワードとしてあるが、障がい者のアート展等の取組について全国を回ってみているが、福祉の分野で人が育っている実践があるところの共通点は、関わる者が障がい者一人ひとりの生きる力を見据えていることである。その視点を教育にもいかしてほしい。 ・ 教育活動や学校教育の情報掲載等、ホームページの充実を図るとあるが、情報発信は重要であり、今後も更に力を入れてほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の ICT 機器の活用について、保護者研修会を開催して、環境を整えている。また、今年度より活用という面ではグーグルフォームを利用して、保護者が欠席連絡できるようにしている。 ・ コロナ禍で他校と交流ができていなかった状況もあったが、今後交流の在り方についても検討していきたい。 ・ 子どもの可能性を広げるという視点を大事にして、小中との系統性をふまえて、しっかりと積み上げた実践をしていきたい。 ・ 本校の今年度の学校目標に合致した視点であり、豊かに生きる子どもの育成を具体的に実践していきたい。 ・ 各学部で週 1 回以上の情報掲載に努めている。現在ホームページへのアクセス数も増えており、今後も継続して情報発信していきたい。

<p>4 目標達成のための具体方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から子どもたちが安心安全な環境で学習できるように整備していただいていることを評価している。また、先生方が子どもの特性に応じた教育方法やスキルを身につけていることも評価できる。ただ、そのことで先生方のストレスがたまり、メンタル面に影響することを心配している。子どもの前では心身ともに健康でいていただきたい。 ・医療的ケアが必要な子どもたちがことで、災害時に電源が必要とのことであったが、発電機等を活用しているのか。 <p>5 その他</p> <p>○戦略事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の児童生徒の将来の姿で、「ささえる力」や「継続する力」の重要性を感じている。自分なりの伝え方を身に付けることなど大切にしてほしい視点である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革の目的は教職員が心身ともに元気な姿で子どもたちの前で教育実践していくことであり、このことを全教職員で共通認識して取り組んでいきたい。 ・災害時には5時間程度利用が可能なバッテリーを準備している。 ・大切な視点であり、今後この学校運営協議会でも熟議して、取り組みにいかしていきたい。
--	--